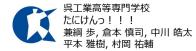
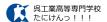
牡蠣殻で下水処理に 革命を!!



1

1. 背景



◆下水処理事業における課題

・使用料収入の減少

少子高齢化による人口減少により使用料収入の減少の懸念

・下水道施設の老朽化

施設の老朽化に伴う改築更新により維持管理費の増加

・下水処理による多大な電力消費

年間電力費として約1,100億円(約75億kWh)を消費 →全国の電力消費量の約0.7%に相当

・余剰汚泥の大量発生

下水汚泥発生量は約230万トン/年(乾燥ベース) →そのうち65万トンが埋め立て処分

下水道施設の更新と分散化の検討、処理コストの削減が必要

目次



- 1. 背景
- 2. 提案システム
- 3. 結果
- 4. 今後の展望

2

1. 背景



◆広島県における課題

・牡蠣殻の大量廃棄

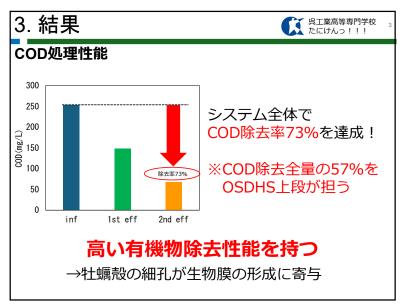
牡蠣殻発生量は約16.8 万トン(2023年漁期) 県内の堆積場の牡蠣殻総堆積量は約31.3万トン(2024年5月末) 堆積所の堆積可能容量は約37.9万トン(2024年5月末)であり、 ひっ迫している状況

主に、農業用の肥料や養鶏用の飼料として有効利用されている →近年、鳥インフルエンザの流行や肥料価格の高騰により需要が 落ち込み利用量減少

3

1

2. 提案システム *OS-DHSリアクター (A) (B) (C) (C)



2. 提案システム

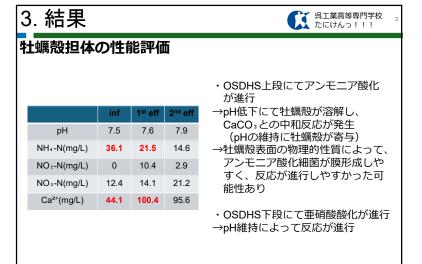
*OS-DHSリアクター

リアクターの特長

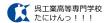
・牡蠣殻を担体として使用

→コストの削減、地域資源の活用
アルカリ度を供給
・省エネルギーな装置の実現
→曝気が不要で電力消費量を抑える

実下水を用いて
リアクターの性能を評価



4. 今後の展望



・牡蠣殼の排水処理性能の解明

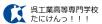
牡蠣殻の有する特徴が有機物分解やアンモニア酸化に どのように寄与したのかを解明する

・提案システムの最適化

処理性能評価を継続し、既存の処理方式と比較するととも に長期運転時の問題点の洗い出しを行う

結果に基づいた提案により 課題の解決と循環型社会の構築を目指す

参考文献



下水道の維持管理 国土交通省

https://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/crd_sewerage_tk_000135.html

下水道事業の経営原則 国土交通省

https://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/crd_sewerage_tk_000140.html

2050年カーボンニュートラル実現に向けた最近の動向と下水道事業における取組 国土交通省 https://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/content/001408215.pdf

下水道が有するポテンシャルと現状の取り組みについて 国土交通省

https://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/content/001466673.pdf

下水汚泥資源の徹底利用に向けた 需要確保等の課題整理・方策検討 国土交通省 https://www.mlit.go.jp/common/001223413.pdf

下水道事業の概要と下水道資源の活用事例とポテンシャル 大阪市建設局

https://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/content/001418839.pdf

かき殻堆積超過の現状と利活用対策の取組状況について 広島県

https://www.pref.hiroshima.lg.jp/uploaded/attachment/585612.pdf

かき殻の利活用について 広島県

https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/88/kakigara.html

9